

平成17年度 同志社体験学習

一風間浦中学校2年生

今回で14回目となる、同志社体験学習が9月27日から9月30日の日程で実施されました。

同志社中学校では全校生徒約千人が迎え、大学の大講義室で交流会が行われました。交流会では同志社中学校の生徒会長の挨拶のあと、風間浦中学校の代表である家政友理恵さんが感謝の意を込めて挨拶をしました。全校生徒を前にはじめは緊張していましたが、今までの練習の成果を發揮しようと合唱を披露し、大きな拍手を得ることができました。同志社中学校からは記念品として大きなうちわをいただきました。

また、歴史ある名所・旧跡に触れるために、金閣寺、奈

良の大仏、清水寺、座禅体験などを行ってきました。

この体験は生徒たちにとって忘れることのない貴重な体験であり、かけがえのない思い出となったでしょう。

ここでこの体験学習を終えてみての感想文を紹介します。

同志社体験学習を終えて



柴垣 匡志

9月27日、僕たちは京都へ向かった。まず飛行機で大阪に行った。そして、大阪城を見た。大阪城はとても大きかった。石垣も大きくて、立派であった。

2日目、東大寺を見学しに行った。東大寺にある大仏はとても大きかった。そして、次には、同志社大学に行った。学生ガイドの人に大学の構内を案内してもらった。大学の中はとても広く、そして、複雑だった。とても印象に残ったのは同志社大学の歴史博物館だ。そこでは、いろいろな土器や石器などがあつた。よくここまで集めたなと思った。

この日の夜は、ギオンコーナリーに行った。ギオンコーナリー

では、狂言や舞妓の踊り、琴の演奏などを見た。

3日目、同志社中学校に行った。同志社中学校では、風間浦中学校の生徒は合唱を歌った。合唱は、いつもどおりにできたと思う。そして、大徳寺に行った。大徳寺では座禅体験をした。座禅は姿勢そのものは、そんなにきつくはないのだが終わってからが痛くてしょうがなかった。実際30分くらいやったのだが感じた時間は15分くらいだった。その後は大徳寺の中を見学した。大徳寺の庭にある砂利は、波や川を表していると感じて凄

いと思った。

そして、金閣寺に行った。金閣寺はとてもきれいな黄色をして輝いていた。凄いとしかいいようがなかった。その後、もう一度同志社中学校に行き、地歴部の人達に中学校を案内してもらった。主にレンガ造りの建物が多く、とても歴史のある学校だということがわかった。

この3泊4日は学ぶべきことがたくさんあつた。特に学ぶべきことは挨拶だ。風間浦中学校の生徒が挨拶をすると同志社中学校の生徒も大きな

声で挨拶を返してくれる。このことは、中学校生活でも必要なことであるが、社会に出ても必要なことだ。今回の同志社体験学習は、とても面白いことだらけであった。そして、とても充実した3泊4日間であった。今回学んだことは絶対忘れずにおぼえておきたい。

同志社交流を終えて



工藤 真実子

私が、今回の交流会で、一番感心したことは、同中生には活気があるなと思ったことです。風間浦と京都では、都会と田舎で正反対だから、同中生と京都に活気があるのは当たり前だと思っていました。が、中学生本来の活気のようなものを感じました。

同中生は私服でいろんな人がいました。髪を染めて悪ふつている人や短いスカートをはいている人など、たくさんいました。でも、どんな格好や性格でも同中生はみんなじめめがあるところに驚きました。私たちの合唱のお礼にと、踊

